

さんむ

平成28年
5月号
2016.No.122



山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画【案】に関する意見

教育委員会では、「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本方針(案)」について、保護者、地域の皆さまを対象に「意見を聴く会」の開催、また、各園・各小中学校ごとに「説明会」を開催し、意見交換を行ってまいりました。

平成27年11月に基本方針を成案とし、保護者および地域の皆さまとの意見交換等の結果を踏まえ、統合の優先順位や年次計画等、今後の方向性をまとめた「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画(案)」を策定しました。

小学校→複式学級の解消

- ・複式学級になっている学校および複式学級が見込まれている学校の統合を優先します。
- ・それ以外の学校は、当面の間存続し、小規模校の課題解決に努めます。

中学校→学校運営の改善

- ・単学級の解消、部活動の活性化、教員配置の充実を念頭におき、生徒数を勘案し優先的に統合を進めます。



2月6日、7日、21日の3日間で、保護者、地域住民の方々を対象に、中学校区単位で山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画(案)に関する意見を聴く会を開催しました。133人の方が参加され、その中で寄せられた意見と教育委員会の考えをお知らせします。

◆規模適正化・適正配置関連

Q 学級の児童生徒数があまりに少ない場合に、班活動や協働的な学習で取りあげる課題に制約が生じてくる。教育活動を充実させることが、困難になるという課題も生じるのではないか。

A いただいたご意見のとおりで、一定の学校規模を確保することに努めてまいります。

Q 教育委員会で山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本方針を成案にしたということだが、素案から成案になるにあたり、どのようなところを修正したのか。

A クラス替えが可能な学級数を、望ましい学級数と素案の中ではしていましたが、小学校に関してはきめ細やかな教育ができるメリットや、地

域の実情等を考慮して、複式学級を有しない6学級を下限の学級数としたところが大きな修正点となります。

Q 中学校を元気なものにしていく一つに挙げられるのが、部活動の活性化だと思う。部活動を通しての人間形成が重要だと考える。

A 規模適正化を進め、部活動を活性化できるよう努めてまいります。

Q 教員数は学級数により決められる。教員が増えることによって、きめ細やかな指導がいろいろなところでできる。いい教育活動を展開するために、統合を進めて欲しい。

A 今後も、皆さまの意見を伺いながら、規模適正化を進めてまいります。

◆教育施策関連

Q 統合する場合に一番肝心な、児童生徒への教育効果をどこに置くのかという点が、薄いように思う。

A これからの社会は、グローバル化や、多様な価値観が存在する社会となることが想定され、これらを生き抜く力の育成に向け、教育を展開して

まいります。

Q グローバル化が叫ばれる中で、教育理念を変更して、きちんとした目的を持たせ、再検討したらどうか。

A 平成27年9月に山武市教育大綱を策定しました。①幼少期重視の人づくり、②自立を促し、未来を切り拓ける人づくり、③地域を支える人づくり、④グローバル社会で活躍できる人づくり、

以上を目指す中で、身に付けさせたい力を育成してまいります。

Q グローバル人材を育てる力の創生で、英検4級以上の取得率を50%とする基本目標があるが、4級は低いと感じる。

A 4級取得者を大幅に増やす中で、達成感を持って、次のステップとし、自分の力を試していく、一つの指標として考えております。

Q 国際社会の前に、まず自国の文化、社会、地域との交流を学び、伝統文化を大事にするような心を育てる教育が必要であると考えます。

A 地域を知り、日本を知り、日本の文化を根源としなが

ら、並行してグローバル教育も行い、子ども達の学びを広げ、たくましく生きる力を育むための取り組みを推進してまいります。

◆施設関連

Q 山武南中を改修して小学校にするということで、今ある小学校をなぜ使わないのか。

A 山武南中の校舎は比較的新しく、敷地も広いことからスクールバスを運行した場合の校内の乗降場などが確保しやすいことなど、また日向小と山武西小の間に位置しているため、通学距離や通学時間も平均化されると考え、山武南中の校舎を改修し、2校を統合する案となっております。

Q 松尾小の仮設校舎が、松尾中にできた翌年に中学校の統合ということで、環境について不安がある。仮設校舎が無くなつてから中学校を統合するという考えはないのか。

A 小中が合同の場所で学習するという上での子どもたちの環境の変化、先生方の環境の変化、これに伴うストレスというのとは十分考えられます。今後、学校生活における場所

の確保・調整について検討を進めてまいります。

Q 豊岡小学校が閉校になってまつおこども園になるということだが、必要な規模を確保できるのか。

A 改修を行い、現在の豊岡小学校の規模で、十分確保できると考えております。

◆まちづくり関連

Q 学校が統廃合されれば、山武市に住む魅力が薄れ、人口減少につながる。

A ご意見は十分理解しております。今後も説明会等を通じて、さまざまなご意見を伺いながら、より良い方向性を見いだしていきたいと考えております。

Q 山武市に根付いてもらう、一生ここで暮らしていくという山武市独自の施策といったものを、ぜひとも柱に盛り込んでいただきたい。

A 英語教育など、コミュニケーション能力を高めていければ、成田空港関連での就職も有利になると考えますし、ICT教育、アクティブラーニングにも、積極的に取り組んでまいります。

◆就学・通学関連

Q 統合が分かってきているのなら、事前に就学指定校を変更したいという方もいるかと思うが、どのような対応をするのか。

A 統合準備専門部会等で、さまざまなご意見をいただきながら、進めていきたいと考えております。

Q スクールバスの運行について、どのような利用方法を想定しているか。

A 統合準備の専門部会の中で、ご意見をいただきながら、どういう形がいいのか話し合いをさせていただいて、一番いい形が取れればと考えております。

◆その他

Q 意見を聴く会の参加者が少ない。意見のある方はもっといるはずである。今後はどのような対応をしていくのか。

A 前期計画に統合予定の学校を対象に、説明会を実施したいと考えております。

Q 統合によりショックを受ける子どもに対して、どのような対応を考えているのか、スムーズに統合するにはどのよ

うな方策を考えているのか。

A 事前の交流事業の充実、教職員の人事配置への配慮等、円滑な統合ができるよう努めてまいります。

Q 今回の統合案がどの程度財政負担の軽減に寄与するものなのか。

A 統廃合することによって歳出が削減されますが、歳入の交付税も減らされていくという形になります。財政的なメリットは少ないと考えております。

Q 全国学力・学習状況調査の結果が、国・県の平均よりも低い。子どもが少ないところで、先生が集中的に教えた方が、学力向上につながるという利点もあると思う。

A 今後の社会の変化に対応する力を身につけるためには、より大きな集団の中で自分以外の多くの意見を認め、自分の考えを大きく広げながら学び合うことが大切であると考えております。

Q 子育て世代の支援ということについて、継続性、一貫性、あるいは一体化ということ、行政組織の方も整理をお願いしたい。

A 縦割りの弊害はなくしていかなければいけないと考えますので、組織の面でもできるだけ努力してまいります。

Q 児童生徒の心のケアを考え、課題や問題を早期解決できよう準備してもらいたい。

A 今後とも意見をいただき、意見をまとめてまいります。そのうえで進め方等、いろいろと配慮しながら進めていきたいと考えております。

山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画(案)についてのパブリックコメント手続きの結果

山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画(案)について、2月1日から29日まで行った意見の募集において、4人の方から32件のご意見が寄せられました。

寄せられたご意見などの概要とそれに対する市教育委員会の考え方をホームページで公表します。貴重なご意見がありがとうございました。

HP <http://www.city.sammu.lg.jp/site/kyouikuinkai/>
教育総務課

☎ 0475(80)1431

人権擁護委員就任



あきば としかず 氏
秋葉 利一 氏
(松尾地区・再任)



いたみ ひでじろう 氏
伊丹 秀次郎 氏
(松尾地区・再任)



なみ き ともしち 氏
並木 友吉 氏
(山武地区・新任)

4月1日付で人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。市では9人の人権擁護委員が活動し、人権への関心を高める啓発活動や人権相談所を随時開設して、住民の皆さんからの人権相談に応じています。お気軽に人権相談所へご相談ください。

新消防団長就任



さ せ よしみつ 氏
佐瀬 儀光 氏
(和 田)

平成28年4月1日、山武市消防団第6代団長として市長から任命されました。

佐瀬新団長は、昭和56年に消防団に入団以来、35年の長きにわたり地域の消防防災活動に尽力され、多くの団員を指導してきました。今後は、火災や風水害から地域住民を守るため、消防団の指揮者として、ますますの活躍が期待されます。

おめでとうございます



高 齢 者 叙 勲
旭 日 單 光 章
戸村 寛治 氏
(戸 田)

昭和50年10月に山武町議会議員に初当選以来、3期12年もの長きにわたり地域住民の代表として地方自治の発展に尽力されました。

また、その任期中においては山武町議会議長を務めるほか、多くの審議会委員等を歴任し、地方自治の発展のために貢献されました。

さんむグローバルセンター (国際交流組織)が発足しました

3月26日に「さんむグローバルセンター」の設立総会が開催され、48人の方が参加し、成川育代さんが理事長として選任されました。

総会では、規約や今後の事業計画等を含む4つの議案が承認されました。

理事長である成川育代さんは「会員の皆様には、興味関心のある事業や得意な分野に積極的に参加いただき、力を合わせて共にセンターの活動を進めていきたい」と、抱負を述べていました。



総会で抱負を述べる成川育代理事長

☎ 東京オリンピック・パラリンピック戦略推進室

☎ 0475(80)1633

第66回千葉県消防大会



第66回千葉県消防大会が、3月18日に千葉市で開催され、長年にわたり消防団員として消防活動に尽力し、地域消防団の充実、発展に貢献された方々に表彰状と記章が贈られました。

また、東日本大震災時の活動等が評価され、本市消防団に日本消防協会長から優良消防団として表彰旗が授与されました。

消防庁長官 永年勤続功労章

本部付分団長 土屋 誠司
本部付分団長 渡邊 勇治
本部付分団長 佐久間一夫

千葉県知事 特別功労章

団長 佐久間 和雄

千葉県知事 永年勤続功労章

本部付分団長 大塚 博文

日本消防協会長 功績章

副団長 佐瀬 儀光

日本消防協会長 精績章

分団長 小川 洋一

日本消防協会長 優良消防団(表彰旗)
山武市消防団

(敬称略)

山武市の新しい農業委員と農地利用最適化推進委員が決まりました

新しい農業委員と農地利用最適化推進委員が決まり、4月1日に新しい農業委員会が発足しました。任期は、平成31年3月31日までです。農業委員と農地利用最適化推進委員は、農業者の代表として、農地の効率的な利用の促進や耕作放棄地の解消など、農業行政の適切な執行に努めます。

◆農業委員(敬称略)

井野 敬一(成東)	鈴木 俊幸(富田)
今関 孝之(井之内)	土屋 秀雄(松尾町古和)
小川 善郎(蓮沼口)	中村 順子(富田)
川島 芳典(松尾町五反田)	林 善和(木原)
雲地 康夫(埴谷)	藤田 雅之(白幡)
齊田 龍一(五木田)	三橋 敏子(蓮沼二)
佐藤 裕子(埴谷)	美濃輪恵一(松尾町八田)
篠原 元(松尾町借毛本郷)	門澤 宏明(横田)
鈴木 和子(松尾町木刀)	※五十音順 ※()内は居住地



農業委員会 会長
齊田 龍一 氏



農業委員会
会長職務代理者
門澤 宏明 氏

◆農地利用最適化推進委員(敬称略)

1 市原 一男(島)	8 今関 良知(小松)	15 金杉 努(蓮沼口)
2 菊池 重壽(市場)	9 佐瀬 一之(埴谷)	16 伊藤 通夫(松尾町蕪木)
3 八角 和昭(寺崎ト)	10 小川 敏(埴谷)	17 古谷 昌己(松尾町猿尾)
4 齊藤 道良(上横地)	11 山下 幸一(実門)	18 中山 彦郎(松尾町水深)
5 高橋 憲一(富口)	12 遠藤 幹夫(大木)	19 齊藤 茂(松尾町折戸)
6 伊藤 彰朗(本須賀)	13 堀越 晃(武勝)	20 鈴木 章重(松尾町本柏)
7 河野 仁男(松ヶ谷イ)	14 加瀬 晃一(蓮沼イ)	※氏名の前の番号は下記担当区域※()内は居住地

☎ 農業委員会事務局 ☎0475(80)1241

農地利用最適化推進委員担当区域一覧

番号	担当区域	番号	担当区域
1 姫島、成東、島、殿台		11 横田、実門、沖渡	
2 津辺、市場、親田、川崎、和田、板附、湯坂、野掘、島戸、真行寺、新泉		12 大木、木原	
3 富田、寺崎、早船、柴原		13 雨坪、植草、椎崎、下布田、日向台、武勝、森、矢部	
4 上横地、下横地		14 蓮沼イ、蓮沼ニ	
5 五木田、小泉、富口、富田幸谷		15 蓮沼ロ、蓮沼ハ、蓮沼ホ、蓮沼平	
6 白幡、本須賀		16 山室、引越、谷津、古和、小川、上大蔵、下大蔵、金尾、蕪木	
7 草深、松ヶ谷イ、井之内		17 八田、猿尾	
8 木戸、小松、松ヶ谷ロ		18 五反田、祝田、水深、本水深、田越、大堤、松尾、富士見台	
9 埴谷、美杉野、戸田		19 広根、下野、折戸、下之郷、借毛本郷	
10 麻生新田、中津田、板川、板中新田		20 高富、本柏、木刀、武野里	

山武郡市環境衛生組合		平成28年度歳入歳出予算		(単位：千円)
歳 入		歳 出		
負担金	565,000	議会費	200	
使用料及び手数料	167,811	総務費	113,385	
財産収入	13,137	衛生費	628,714	
繰入金	1	公債費	1	
繰越金	1,132	予備費	5,000	
諸収入	219			
合計	747,300	合計	747,300	

☎ 山武郡市環境衛生組合 ☎0479(86)3131

平成28年度

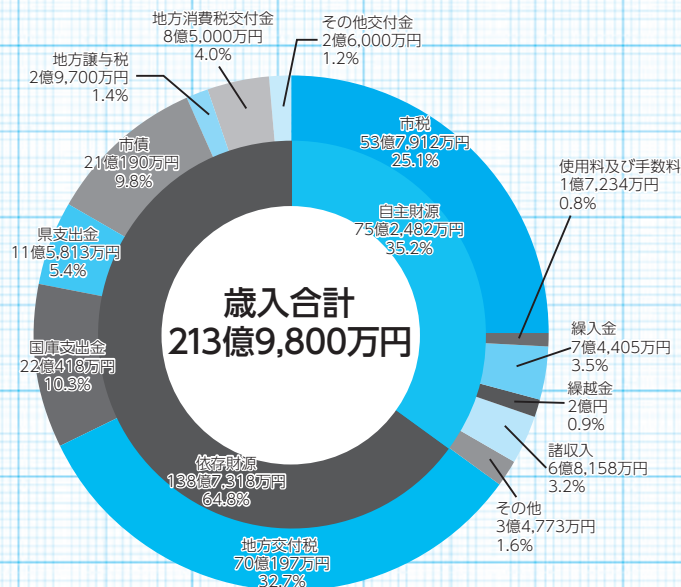
山武市の予算を知る

平成28年度山武市一般会計予算額は当初予算比較で昨年度より11億9700万円(5.3%)減の213億9800万円となりました。

主な事業

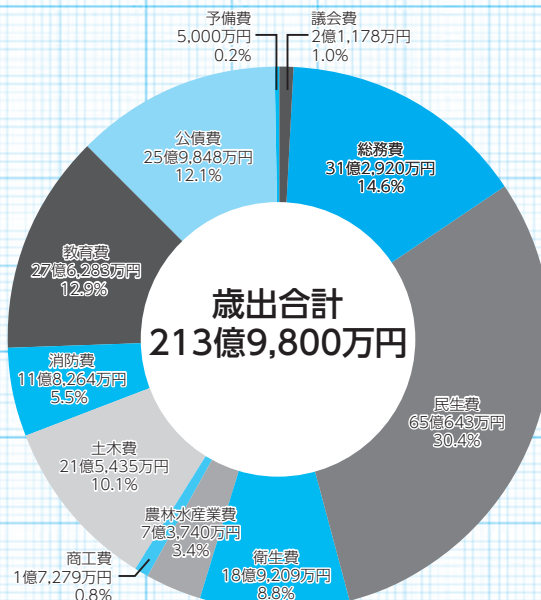
- ・障害者自立支援事業
(民生費)7億7,850万円
- ・避難道路整備事業
(土木費)3億9,538万円
- ・地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業
(衛生費)3億3,988万円
- ・小学校空調設備設置工事
(教育費)3億9,422万円
- ・成東駅南側駅前広場整備事業
(土木費)3億5,583万円
- ・中学校空調設備設置工事
(教育費)2億4,679万円
- ・(仮称)蓮沼タワー整備事業
(総務費)1億5,260万円
- ・子ども医療費助成事業
(民生費)1億3,230万円
- ・経営所得安定対策推進事業
(農林水産業費)7,072万円
- ・浄化槽設置支援事業
(衛生費)3,165万円
- ・地域農業経営再開復興支援事業
(農林水産業費)3,159万円
- ・消防ポンプ車等整備事業
(消防費)1,542万円
- ・商店等リフォーム助成事業
(商工費)500万円
- ・不法投棄防止対策事業
(衛生費)264万円

一般会計歳入



歳入には、税金などの「自主財源」と、国や県から割り当てられる「依存財源」があります。今年度はこの自主財源が75億2,482万円で、そのうち基金の取崩しが5億8,416万円(44.0%)減少しています。また、依存財源では地方交付税が1億6,653万円、借入れによる市債が6億700万円の減少を見込んでいます。

一般会計歳出



歳出は、昨年度に比べ総務費が3億8,013万円、農林水産業費が10億3,285万円、土木費が1億7,480万円、減少しています。これは、旧成東児童保健院解体整備事業および国営かんがい排水事業の終了に伴う減額や避難道路整備事業の工期延長に伴う減額などによるものです。事業の選択と集中を行い、計画的な経費削減を図りつつ、より効率的で効果的な行財政運営を進めます。

特別会計・公営企業会計予算

特別会計

国民健康保険特別会計 (事業勘定)	93億6,350万円
国民健康保険特別会計 (施設勘定)	1億4,500万円
後期高齢者医療特別会計	4億7,760万円
介護保険特別会計	46億2,500万円
組合立国保成東病院事業清算事務特別会計	2億3,000万円
地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計	1億2,383万円
農業集落排水特別会計	2億7,180万円

公営企業会計

水道事業会計	6億2,944万円
--------	-----------



平成 27 年度下半期予算執行状況

歳入合計	243億2,367万円	執行率
	209億9,508万円	86.3%
市税	54億5,123万円	
	52億4,026万円	96.1%
繰入金	18億2,772万円	
繰越金	18億2,017万円	99.6%
分担金・負担金・使用料 手数料・財産収入・寄附金	5億 110万円	
	4億7,522万円	94.8%
諸収入	8億5,484万円	
	8億8,001万円	102.9%
地方交付税	72億8,299万円	
	73億6,173万円	101.1%
国庫支出金	37億1,969万円	
県支出金	27億3,355万円	73.5%
市債	32億1,970万円	
	9億5,260万円	29.6%
その他※	14億6,640万円	
	15億3,154万円	104.4%

※その他＝地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

歳出合計	243億2,367万円	執行率
	203億7,069万円	83.7%
議会費	49億1,485万円	
総務費	44億3,783万円	90.3%
民生費	67億6,309万円	
	59億8,010万円	88.4%
衛生費	19億3,077万円	
	18億5,781万円	96.2%
農林水産業費	21億1,952万円	
商工費	10億1,504万円	47.9%
土木費	22億1,361万円	
	11億3,083万円	51.1%
消防費	11億7,409万円	
	10億6,936万円	91.1%
教育費	26億 387万円	
	22億9,691万円	88.2%
その他※	26億 387万円	
	25億8,281万円	99.2%

※その他＝災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費

□ 予算現額 ■ 収入額・支出額

用語解説

【歳入】

<自主財源>

市税…市民税、固定資産税など
使用料及び手数料…市の施設やサービスが
利用されたときに収入されるお金
繰入金…基金(市の貯金)の取り崩し
繰越金…前年度から繰り越されるお金
諸収入…給食費など
その他…財産収入など

<依存財源>

地方交付税…市の財政力に応じて国から交付
されるお金
国庫支出金…市で行った事業に対して国が負
担するべきお金や補助されるお金
県支出金…市で行った事業に対して県が負担
するべきお金や補助されるお金
市債…大規模な事業を行う時に借りるお金な
ど

【歳出】

議会費…議会の運営に係る経費
総務費…市の行政運営、財産管理、市民サー
ビス、情報化の推進に係る経費
民生費…高齢者、障がい者、児童の福祉など
に係る経費
衛生費…病気予防のための各種健診、さんむ
医療センター等医療に係る経費およびごみ
処理等環境に係る経費
農林水産業費…農林水産業の振興と農道等
の整備に係る費用
商工費…商工業および観光振興などの経費
土木費…道路、河川および公園整備などに係
る経費
消防費…消防活動や防災のために係る経費
教育費…学校や社会教育およびその施設に
係る経費
公債費…借入金の返済に係る経費
予備費…予算編成で予期しなかった支出に対
応するための科目

【特別会計】

国民健康保険特別会計（事業勘定）

《歳入》	86 億 4,427 万円	91.7%	予算現額
《歳出》	86 億 7,466 万円	92.0%	94 億 2,530 万円

国民健康保険特別会計（施設勘定）

《歳入》	1 億 2,807 万円	87.6%	予算現額
《歳出》	1 億 2,740 万円	87.2%	1 億 4,617 万円

後期高齢者医療特別会計

《歳入》	4 億 1,827 万円	96.9%	予算現額
《歳出》	3 億 6,949 万円	85.6%	4 億 3,153 万円

介護保険特別会計

《歳入》	42 億 9,052 万円	94.9%	予算現額
《歳出》	40 億 2,757 万円	89.1%	45 億 2,005 万円

組合立国保成東病院事業清算事務特別会計

《歳入》	2 億 4,044 万円	100.1%	予算現額
《歳出》	1 億 6,170 万円	67.3%	2 億 4,026 万円

地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計

《歳入》	1 億 3,730 万円	100.0%	予算現額
《歳出》	1 億 3,730 万円	100.0%	1 億 3,731 万円

農業集落排水事業特別会計

《歳入》	2 億 7,199 万円	97.2%	予算現額
《歳出》	2 億 5,164 万円	90.0%	2 億 7,972 万円

市ホームページから、予算書のダウンロードが可能です。

HP <http://www.city.sammu.lg.jp/soshiki/5/> 図 財政課 ☎0475(80)1121

市民の皆さんに、市の財政状況をご理解いただくために、一般会計などの執行状況をお知らせします。

今回は平成27年度下半期(10～3月末)の予算の執行状況の概要です。

【一般会計】

平成27年度一般会計予算は225億9,500万円でスタートし、3月までに2億2,276万円の増額補正を行った結果、228億1,776万円となり、前年度繰越額15億591万円を含めた総額で243億2,367万円となりました。

歳入は、収入済額が209億9,508万円で、予算に対して86.3%の収納率となっています。

歳出は、支出額が203億7,069万円で、予算に対して83.7%の執行率となっています。